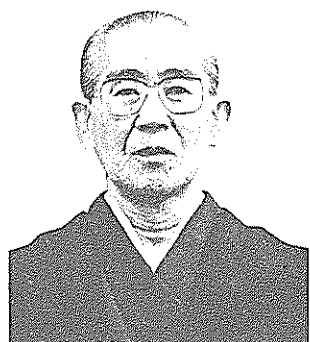


新時代への幕開け の年を迎えて

市長 小笠原 喜郎



明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族おそろいでよい新年をお迎えになったことと存じます。

旧年中は市政に対する温かいご理解と絶大なご協力をいただきまして大変ありがたく、改めてお礼申し上げます。

今年は、長い年月と莫大な資金を投入した瀬戸大橋が完成し、高知県はもとより四国四県が新時代への幕開けの年となり、四国と本州が結ばれることになりました。

新しい流れに期待を持ちながら、その変化を有効に生かし、経済や文化を高めていく心構えが大切かと思えます。

ひるがえって国際経済の面から見ても、今日日本は世界中から注目せられ攻撃を受けております。南国市の最も安定した産業と思われている農業ですら必ずしも現状のままで安閑としてはられません。せっかく先人たちが培ってきたよき伝統がありますが、さらに知識と技術の導入にも心を配り、飛躍と発展を図

らなければなりません。

第二次産業についても、近隣諸国や東南アジアの国々が、今や新興農工業国に発展しつつあり、第一次産品や軽工業製品を経済大国日本へ安値で挑戦してきようとしています。高度の技術と付加価値の高い製品の開発に努め、コストダウンを図らざるを得なくなりつつあります。

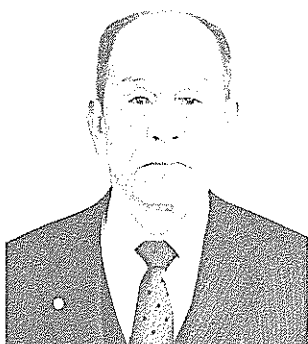
市政においても地方自治体の負担は年ごとに重くなる傾向にあります。財政の健全化に努めながら市民の要望にも応じられるように最大限の努力をしております。同和対策事業の推進、教育施設の充実、企業誘致など課題は山積みしておりますが、一歩ずつ前進し、一つずつ積み上げていくほかありません。

架橋元年を契機として、中国、四国、近畿圏の人、物資、文化、情報の交流の輪が一段と拡大します。この機会にあたり、一人一人が創意工夫を凝らし、豊かで特色ある南国市をつくり出そうではありませんか。今年もあなた様により年でありますように祈念致します。

新年

賀

謹



本四架橋への 対応の年

議長 門田 益治

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

昭和六十三年の新春を迎えて皆様方には新たな希望に胸を膨らませておられることと推察申し上げます。

昨年の南国市を取り巻く情勢はまことに厳しいものがありましたけれども、市民の皆様のためなき努力と伝統を誇る根強い実行力によって、南国市が隆盛の一途をたどりつつありますことは誠に同慶にたえない次第であります。

市民の皆様から信託され、新たな区切りのスタートの年であります。住民の範となり信頼にたる行動を取らなければならぬ気持ちで身の引き締まる思いをかみしめています。

ご承知のとおり、いよいよ今年四月、本州と四国の間に海に阻まれることのない地続きの道路が出現し、高速道路時代の幕明け、そして二十一世紀に向けての飛躍と繁栄のための基礎作りの年となります。

文化は自然と人間のふれあい、人と人、人と物とのつながりによって成り立っております。一つの場所に留まっていたのではこうしたふれあいはなく、物資の

交流もなく、文化の発達もありません。人間の往来、物資の交流の手段の中で最も重要なものが道であります。

道路は自動車交通のためにだけあるのではなく、国造り、町造り、村造りのために、そして日常生活や生産活動を支え新しい文化を育てるための基礎的な資産であると思います。

高速道路は一挙に時間と距離を短縮し、都市と都市、都市と地方を緊密に結び付け、人口と産業の望ましい配置を可能にします。

架橋、高速道路時代の到来は、本市の立地条件が県内で最も有利であります。どう受け止め、どのようにに対応していくかが大きな課題でありましょう。

先人が営々と築いてきた私たちの郷土南国市の新しい未来を全市民の英知を結集して切り開いていこうではありませんか。

最後にこの一年が皆様方にとってすばらしい年でありますように祈念して新年のごあいさつと致します。